

みんなが輝くチャレンジプラン

(第3次半田市男女共同参画推進計画)

みんなが自分らしく 輝くために

多様性

いろいろな考え方や
個性を尊重し
みんなが自分らしく
生きられるまちを
目指しましょう

ワーク・ライフ・ バランス

多様なライフスタイルに応じた
自分らしい生き方を
実現しましょう

女性活躍

地域活動など
あらゆる分野で
女性も活躍できる
まちを目指しましょう

みんなが自分らしく 生きられるまちを目指しましょう

■男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男性」や「女性」などというイメージにとらわれることなく、お互いに尊重し合い、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる社会のことです。

家庭では

家事や育児、 介護はみんなで協力！

家事などは性別に関係なく
誰もが必要なスキルです。
みんなでやれば、きっと快適な
暮らしにつながる！

職場では

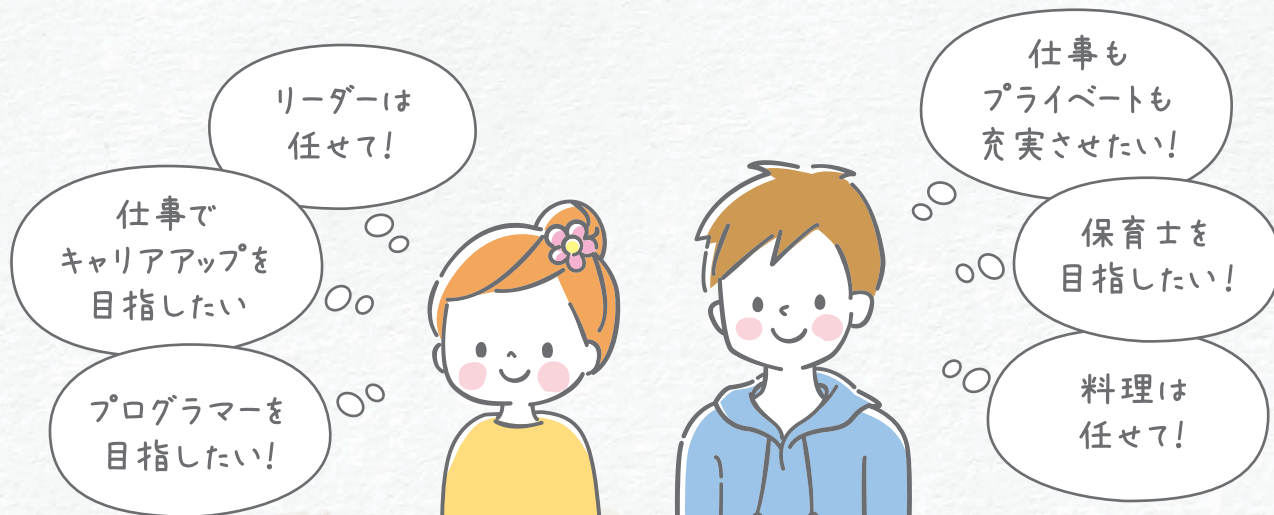
みんなが主役！ 自分らしく輝こう！

職業は性別にかかわらず
自由に選択できます。
自分がやりたいことを
見つけよう！

■大切なのは自分らしく生きること！

私たちは一人ひとり顔が違うように、性格や得意なことも違います。これは、性別によって違うのではなく、それぞれの個性です。

みんなが充実した人生を送るためにも、お互いの個性や考え方を尊重し、自分らしく活躍することが大切です。



あなたの自分らしさは？

自分らしいワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)を!

■みんなが主役 一人ひとりが輝くために

私たちの日常は、仕事、家事、子育て、地域での交流、趣味など、いろいろな活動から成り立っており、そのライフスタイルはさまざまです。そして、これらのどこに重点を置き、どのような暮らしを望むかも人それぞれです。

大切なのは自分がどうありたいか。ワーク・ライフ・バランスに「これが正しい」という形はありません。多様なライフスタイルに応じた、自分らしい生き方を実現しましょう。



自分がどうありたいかを
考えてみよう!

女性も活躍できる 地域づくり

■地域活動では多様な視点から幅広く 課題解決に取り組むことが必要!

地域では様々な団体による活動が行われていますが、会長や代表者になる女性はとても少ないのです。女性自身も「会長なんて無理!」と思ってしまうのではないでしょうか?

防災分野など地域課題の解決には、性別にかかわらず、多様な視点で取り組むことが必要です。



多様な視点から、防災・災害時対策を考えることが大切です

東日本大震災では、災害時・復興時に、性別に応じた課題が現れました。例えば、備蓄品に女性用品や乳幼児用品が不足したり、避難所での着替えに女性が苦勞したり…。男性も「自分がしっかりしなければ!」という責任感で追い詰められたり…。このような教訓を生かし、日ごろからの地域の防災活動でも男女それぞれの視点をもって対策を検討することが必要です。

多様な考え方や個性を 尊重しましょう

家庭や職場、学校などあらゆる場において、相手の多様な考え方や個性を尊重し、お互いの理解を深めることが大切です。多様な考え方や生き方を認め合い、みんなが自分らしく生きられる社会を目指しましょう。

■人の「性」は多様！

人の「性」は、単純に「男性」「女性」と分けられるものではありません。人の「性」は多様で、様々な要素から構成されます。

法律上（出生時）の性

自治体に提出された出生届等により、戸籍や住民票に記載されている性

こころの性（性自認）

自分がどの性別であるか、またはないかについての認識

好きになる性（性的指向）

恋愛感情や性的関心がどの性に向くか、または向かないか

表現する性

服装や言葉遣いなど、自分の性をどのように表現するか

■LGBTQとは？

LGBTQとは性的少数者（セクシュアルマイノリティ）を表す表現の一つで、次の頭文字を組み合わせた言葉です。

Lesbian レズビアン	女性を好きになる女性
Gay ゲイ	男性を好きになる男性
Bisexual バイセクシュアル	両方の性を好きになる人
Transgender トランスジェンダー	出生時の性とこころの性が一致しない人
Questioning クエスチョニング	こころの性と好きになる性が決まっていない人

SDGsとの関係

SDGs (Sustainable Development Goals) は、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、2015（平成27）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことであり、17のゴールと169のターゲットから構成され、経済・社会・環境を包含する統合的な取組を示しています。

5 ジェンダー平等を 実現しよう



- すべての女性に対するあらゆる差別や暴力をなくす。
- 家庭内の子育て、家事や介護などは、お金が支払われる仕事と同じく大切な「仕事」であるということを、公共のサービスや制度、家庭内の役割分担などを通じて、認めるようにする。
- 社会の中で何かを決める場に、男性と女性が同じように参加したり、リーダーになることができるようにする。

3 すべての人に 健康と福祉を



生涯にわたって、健康的な生活を送るため、性と生殖に関する保健サービスを利用できるようにする。

4 質の高い教育を みんなに



すべての子どもが、性別にかかわらず、それぞれ個性を伸ばし、多様な生き方や進路を選択できるよう教育の充実を図る。

8 働きがいも 経済成長も



出産や介護等を理由として離職することなく、働き続けられるようにする。

16 平和と公正を すべての人に



DVや虐待被害の未然防止や早期発見に取り組むとともに、誰もが安心して生活できるよう支援を行う。

